



伊勢本街道沿いにある樹齢600年ともいわれる巨樹。もともとは井戸杉として井戸の周囲に杉を植えて水を集める役割で植えられたそうです。地域には弘法大師・空海がこの場所です。地域には弘法大師・空海がこの場所です。地域には弘法大師・空海がこの場所です。挿したものが成長し、千本杉になったという伝説が残っています。

井戸を取り囲む16本の杉が長年をかけてゆ着したものと思われ、井戸杉としては県下で最大最古のもの。遠くから見ると、一つの森のような姿を見せてくれます。このような樹幹の複雑なゆ着は学術上貴重とされています。



巨樹は昭和56年に県天然記念物に指定されており、井戸も「高井千本杉の杉井戸水」として、県により「やまとの水」にも選ばれています。

## 近鉄駅ホームにPR看板設置！ 豊かな自然環境や住みやすさを発信



モデルとなった吉井さんファミリー（大宇陀西山在住、広島県から移住）。

平成28年12月号広報うだ「特集～宇陀市でふるさとを見つけました～」でも紹介させていただきましたが、地域の人からも温かく迎えられ、地域行事も楽しまれているそうです。

設置場所・期間

『看板』 大阪難波駅 8/1～令和2年1/31

『電子看板』 大阪難波駅、大和八木駅 8/5～10/4

大和西大寺駅 8/26～10/25

少子高齢化に伴う人口減少が続く中、活力あるまちづくりを維持するためにも、移住者の受入施策が必要です。

市ではこの度、定住促進事業施策の一環として、都市部の近鉄駅ホームなどにPR看板を設置しました。宇陀市の豊かな自然環境や住みやすさ、働きやすさなどの魅力を発信し、転入者の増加や市民の定住促進を目指します。



設置する看板画像 この写真は転入当時のご家族の様子▶